

伊勢崎市立第三中学校

第1学年通信

令和5年6月30日(金)

第18号



情報化社会を生きていく上で大切なこと

～情報モラル講習会で学んだことを生かして～

情報モラル講習会では、校長先生より、「現在の情報化社会では、知らぬ間にトラブルに巻き込まれたり、意図せずにいじめの加害者になっていたりするかもしれない。正しい知識を得ることはとても大切」というお話があったあと、群馬県子どもセーフネットインストラクターの波呂啓介様を講師にお迎えして、お話をいただきました。①SNSとお友だち②ゲームにハマる理由③ネット依存のしくみと予防という内容でした。SNSの会話では、誤解が生じやすいから学校で会って話すことがよいこと、ゲームは中毒症状を生み出すように設計されていること、勉強しているときにスマホが近くにあるとラインの通知音で集中力が切れやすいこと、などから勉強とネットのバランスがうまくとれるように自分をコントロールすることが大切であることについて大変わかりやすいお話をいただきました。使い方を間違えなければ、とても便利な道具であるから、安全に楽しく使えるようにしたいですね。裏面に、生徒の感想を載せてありますので、ご覧ください。



市総体激励会での心に響くお話を紹介します

○校長先生より

- ・不安や弱気になるのではなく、強気で攻める気持ちが大切。最後まで『挑戦する心』を忘れず、全力を出し切ろう

○部活動後援会長さんより

- ・WBC優勝、日本代表の大谷選手が、試合前に『憧れはやめましょう』と声かけをした。仲間と思い切り楽しんでください
 - ・大谷選手は、『絶対に塁に出る』のように迷いなく、よいイメージを持って試合に挑んでいる。
 - ・最高の仲間とかけがえのない時間を過ごしてください
- これらのことは、市総体に限らず、大事な場面に挑む(入試などにも)際に、心の持ち方としてとても参考になると思います。心にとめておくとよいですね。

市総体の会場へ応援に行く際の注意事項

- ①『熱中症対策』睡眠時間確保・朝食は必ず摂る・衣服で調節する(帽子をかぶる)
- ②『応援』服装(三中の体育着)、持ち物(普段の学校生活と同じ、お金・スマホ・お菓子などは×)、水筒(暑い場合は多めに)、マナー(真剣に取り組んでいる選手の妨害をしない)

7月3日(月)～7月7日(金)の予定

	7/3日(月)	4日(火)	5日(水)	6日(木)	7日(金)
朝	読書	読み聞かせ	読書	読書	読書
1校時	月①	火①	水①	木①	金①
2校時	月②	火②	水②	木②	金②
3校時	月③	火③	水③	木③	金③
4校時	月④	火④	水④	木④	金④
5校時	月⑤	火⑤	水⑤	木⑤	金⑤
6校時		火⑥	水⑥	木⑥	金⑥
行事など	体育着登校 15:10下校	体育着登校 短縮授業 17:45下校	体育着登校 短縮授業 17:45下校	体育着登校 短縮授業 17:45下校	体育着登校 短縮授業 17:45下校

お知らせ

※書写(国語)では、外部講師の福田令子先生をお招きして、指導をしていただいています。書写の授業では、墨がついてしまうことがあるかもしれませんが、汚れてもよい服があるので、汚れてもよい服があるとよいです。
裏面に続く

お知らせの続き

※4日から学期末の事務軽減で、短縮授業になります。下校時間が少し早まります。
※水曜日の制服登校は、暑さ対策のため、7月より体育着登校となります。
ご承知おきください。よろしくお願いいたします。

情報モラル講習会を終えて

分かったこと・これから意識していきたいこと・感想など（一部省略あり）

○1組 北原 柚佳

SNSは元から中毒になるようにつくりられていることを知り、とても驚きました。中毒になるとコカインと同じドーパミンを出すのはすごいと思いました。これからは、相手に文章を送るときは、しっかり内容が大丈夫かを確認し、伝わらないようなことは、直接話して伝える必要があると感じました。SNSは、使い方によってはとても便利な道具になるので、うまく活用していきたいと思いました。中毒にならないように気をつけてSNSを使っていきたいと思いました。これから今すぐに取り組んでいきたいと思います。

○2組 古関 絢郁

SNSは危ないということ、LINEとかでも送ったものは、全世界に流失してしまうかもしれないということを知って、これからは気をつけて送るようにしようと思った。ドアの外にはるものなのかとか、そういったことを想像して投稿するかを判断したいと思った。人に送ったものが「全世界に流出」なども他人事として考えるのではなく、自分事として考え、送るのには人はどう思うのかなとか、これを送ったらこんな未来なのかなとか考えるようにしたいと思った。

○3組 設楽 拓海

ラインやメールで、例えば、「何で来るの？」や「いいよ」、「～じゃない」などは意味が誤解されてしまうことが多いということが分かった。ネットやゲームには中毒性があり、どうしても続けてしまったり、続けていて課金をしたりすることがあることが分かった。ネットの時間と勉強の時間のバランスを考えて、これからの中学校生活を送りたい。メールなどで連絡をとるとき、相手の立場になって、「こういう言葉を送られてきたらいやだろうな」などを考えて、連絡をとりたい。また、もし、誤解がうまれたり、連絡が続かなくなったりしたら、実際に会って話をするようにしたい。

○4組 小林 さわ

スマホは、使い方を間違えたら大変なことになってしまうことが分かった。「ゲームやSNSにはまる理由はドーパミンが出て中毒性が生まれるから」ということが分かった。97%の人が誤解しているから、誤解して当たり前と思った方が良かったことが分かった。個人情報やSNSに出さないように気をつけたい。SNSやLINEなどで誤解を生まないように工夫したいと思った。SNSは使い方を間違えないよう、勉強の時間とのバランスをよく考えながら利用したいと思った。スマホの通知音は、設定で消せるから、それを使いたい。

○5組 澤中 碧海

これからは、自分がゲームが好きなら、この現実世界をゲームだと思って勉強すると、経験値が上がると思いながら、苦手なことにチャレンジしてみたり、いろいろなことにチャレンジするという意識していきたい。講師の先生が、インターネットに写真などを載せるのは、家の外のドアにはり付けるのと同じことといていたように、これからは、何でもかんでも大丈夫と思うのではなく、中学生として自分で自分の身を守り、安全第一に日々を過ごしていきたい。

○6組 島田 美月

ネットはとても危ないものなので、絶対に使い方を間違えないように常に気をつける。チャットだと自分が本当に伝えたいと思うことが、伝わらない可能性がある。友達の友達は友達ではない。LINE通知が来たら、集中が乱れる。LINEを通して、「友達」に写真を送るということも、世界に写真を発信していることと同じ。勉強をどれだけしっかりしても、ゲームをする時間が長ければ、脳にしみついていない。使い方をちゃんとすれば、ネットはとても便利なもの。だからこそ、使い方をしっかりして生活に活用していく。